

高尾小仏植樹祭 2023 参加レポート

210 人で苗木 2300 本を植える

10 月 15 日、東京都八王子市にある都立高尾陣場自然公園内で「高尾小仏植樹祭 2023」が開催された。ここは小仏トンネルの残土ずり山で、2017 年から NPO 国際ふるさとの森づくり協会の主催で、毎年、植樹祭が開催されてきた。今回で 7 回目だ。「地球の緑を守る会」の私たちも合流した。

昨夜から降り続けた雨は、昼にはすっかり上がって、森土場のコンディションも良好。開会式は同協会の高橋秀幸理事長のあいさつで始まり、「ふるさとの木を混ぜる、混植」「植える、密に、密植」と提唱者、故宮脇昭先生の方式を解説。

2017 年に植えた苗木もう 5m を超えている。この日、用意された苗木は 2300 本で、アカガシ、タブノキ、イロハモミジ、ヤマザクラなど。参加者は 210 人で 8 つの班に分かれて、それぞれエリアに向かい、リーダーの指示に従って植樹の作業を始めた。

急斜面で、丸太で土留めをしてあり、人も多いため、交通ルールの説明から。上下移動は端にある階段のみを使い、横への移動は丸太に沿って歩く。移動しつつシャベルで穴を掘って植えてゆく。苗木と苗木は一定の間隔で、植えた後は、手で土を押さえ同じ樹種と並べないなど、注意点がある。

植えた後は、稲わらを敷き詰めて縄で固定する。広大な斜面を、大勢の人がそろって植樹する姿は壮観だ。

イベントの最初と最後を盛り上げてくれたのは、ミニコンサート。シンガーソングライターのいまむら瞭さん、歌手の溝端育和（やすな）さん、アルパ（ハーブ）の今村夏海さんが森をテーマにして曲を披露してくれた。これから苗木の成長が楽しみです。(M)